

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 10 月 30 日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|-----------------------------------|-----------|-------------------|
| 事業所番号 | 4271401632 | | |
| 法人名 | 有限会社 こすもす | | |
| 事業所名 | グループホーム こすもす | | |
| 所在地 | 〒859-2112 長崎県南島原市布津町乙 369 番地 1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 25 年 8 月 20 日 | 評価結果市町受理日 | 平成 25 年 11 月 13 日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|--------------|--|
| 基本情報リンク先 URL | |
|--------------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構 | | |
| 所在地 | 〒855-0801 島原市高島二丁目 7217 島原商工会議所 1 F | | |
| 訪問調査日 | 平成 25 年 10 月 17 日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自然が広がり静かな環境の中であり、家庭的な雰囲気を大切にしているホームです。ご家族の負担を常に考え、オムツ代はホームで負担し利用料も安くサービス提供を行っています。介護においても決して無理強いする事なく、利用者の立場に立ったケアを目指し「みんなで、いっしょに、たのしく」という理念のもと個々を尊重した支援の中で安心して生活が送れるように日々努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

今春新築により移転された。ホームからは普賢岳が望め、四季の移ろいを感じる事ができる。基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりのその日その時の気持ちを大切に、起床、レクレーション等利用者本位の支援が行われている。入浴は一般の浴槽にストレッチャー式と車椅子式の特殊浴槽が加わり、利用者の身体状況に合わせた入浴ができ、職員の負担も軽減され、双方に快適なものとなっている。また、腰痛の家族に負担がかからない様に居室に移乗用のリフトを設置したり、パットやリハビリパンツはホーム負担にする等、常に利用者の立場に立って支援されている。職員の利用者に接する態度は温かく、利用者もまた冗談を言ったりしながら自分らしく落ち着いて生活されている。新たな出発に向け、希望に満ち溢れたホームである。

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|---|---|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | その人らしい人生の継続の支援に地域の方と一緒に「みんなで一緒に楽しく」と取り組み日々のケアの中で言い交わし介護の基本とし地域生活の継続を支える為の理念としている。 | 利用者1人ひとりの思いを大切にしながら、管理者と職員は日々利用者に関わる中で常に理念を意識し、利用者が楽しく暮らせる様に実践されている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 散歩などで地域の方と挨拶を交わしたり話をしたりしている。また、畑の作物の差し入れなどもある。 | 半年前に新築により移転した際、地域の家々を訪問し、あいさつをされた。今はまだ地域との付き合いはうすいが、今後町内会長、民生委員の方々にもホームを知ってもらいたい意向である。 | まず地域の一員として、自治会に加入し、地域の会合や行事に参加したり、ホームの行事にも参加を呼びかけ、双方向的な関係を構築していかれる中で、災害時の協力を得やすい環境づくりに努められる事にも期待したい。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 実習生の受け入れ等を検討中 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議では事業所の活動内容や利用者の状況等について報告したり質問や意見・要望などを受け入れサービスの質の向上に取り組んでいます。 | 定期的に開催し、利用者の状態やホームの取り組み等を話されている。今年度より、地域の警察官に参加いただき、充実した会議になった。民生委員の方にも参加依頼を考えられており、更に意見も出やすく広がりが出るものと思われる。 | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営やサービス提供を行っていく上で生じた課題は事業所だけで抱え込まず市町村の担当者へ相談したりと協力関係は築けている。 | 移転に当たり、規定通りになっているか等、広域の職員に確認をしていただいた。また、認定更新の機会等を利用して、ホームの取り組みを伝えながら、協力関係を築く様に努められている。 | |

| | | | | | |
|----|---|---|--|---|---|
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束排除理念を掲げ、利用者が安全で自由な暮らしが出来るように職員の見守りの方法を徹底しさりげないケアが出来るように取り組んでいる。 | 身体拘束はしない方針である。現在は対象者はいないが、外出される時は、止めるのではなく後からついて行き自由な暮らしを支える様になっている。新人職員には、ベテラン職員が付いて指導を行い、拘束のないケアを実践されている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 現在利用者の家族、職員に関して利用者への虐待行為は見られない。研修等にも参加し全職員で周知知識の向上に努めている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在対応が必要と思われる利用者はいないが研修等には参加し職員に説明を行いながら理解を深めるようにしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 介護報酬の改定に伴い利用料が増加する場合や諸物価の変動により利用料の値上げを行う場合は十分な説明を行い同意を得るようにしている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族には来訪時や電話等で常に問いかけ何でも言ってもらえるような雰囲気作り心がけており出された意見や要望は職員で話し合い、反映させている。 | 常に傾聴の姿勢を持って接している。利用者や家族からの信頼も厚く、何でも言ってもらえる関係ではあるが、更に面会時等に常に問いかけている。出された意見や要望は、検討し、サービス向上に反映されているが、口頭での伝達になっており、記録としては残されていない。 | 出された意見は、サービスの質の向上の為にまた同様の意見や要望等が発生した際に適切かつ早急に対応する為にも、記録を残し、情報を共有できるようにしておかれることに期待したい。 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月に1回の職員会議の中で職員の意見や要望を聞くようにしている。また必要時には勉強会や個別面談などを行いコミュニケーションを図れるように心がけている。 | 職員の気付きやアイディアは、職員会議に限らずその都度聞いてもらう事が出来る。居室の移動や入浴の回数、尿漏れしないおむつのあて方等反映した事例は多い。急なその日の休みにも対応してもらい、働く意欲へと繋がっている。 | |

| | | | | |
|-----------------------------|---|---|--|--|
| 12 | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>施設長も頻繁に現場に出ており、利用者と一緒に過ごしたり、管理者や職員一人ひとりの努力や実績、勤務状況を把握し各自が向上心を持って働けるように努めている。</p> | | |
| 13 | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>年間を通して全ての職員が段階に応じて研修を受けられるように配慮し毎月の会議の中で研修内容を発表し、全職員が共有出来るようにしている。</p> | | |
| 14 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>関連事業所などと交流を持ち地域の情報や研修会などで意見や経験を聞き協働しながらサービスの質の向上を目指している。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>今までの生活状況や本人が置かれている状況などを把握し、本人の思いや不安を受け止め信頼関係が持てるように努力している。</p> | | |
| 16 | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>これまでの家族の苦労や不安、今までのサービス利用状況などについてゆっくりと話を聞き家族の状況や要望などを把握し信頼関係を作る努力をしている。</p> | | |
| 17 | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>困っていることや不安なことに対し早急な対応が必要な方には可能な限り対応できるように努め場合によってはケアマネや他の事業所のサービスを繋げるなどの対応をしている。</p> | | |

| | | | | |
|-----------------------------------|---|--|---|--|
| 18 | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日々の生活の中で利用者との関わり合いを大切にしながらの暮らしの知恵や要領などを教えてもらいながら残存機能が維持・向上できるように支援しお互いが協同しながら生活が送れるように努めている。 | | |
| 19 | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族が来訪時、日々の暮らしの出来事や気づきの情報交換を行い利用者の思いや職員の思いを伝えることで協力関係が築けている。 | | |
| 20 | 8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ホームに入居されてからも友人や自治会の方が会いに来られたり継続的な交流が出来るように支援している。 | 入居後も継続して加入のある自治会から、定期的に広報誌やお知らせを持って来ていると話をされたり、隣接するデイサービスに知人の利用があり、お互いに行き来されている。利用者情報提供書で、入居前の人間関係を把握し、馴染みの関係が途切れない様に支援されている。 | |
| 21 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の関係を把握し皆で楽しく過ごす事が出来るようお茶や食事の時間は職員も一緒に会話に入り利用者同士の関係が円滑になるように支援している。 | | |
| 22 | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービスの利用が終了しても時々家族が遊びに来られたりその後のご家族の状況などを報告に来てくださったりしている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々の関わりの中で利用者の言葉や行動・表情などに注意し声かけや見守りを行いながら支援している。 | 利用者に関わる中で声をかけ、また表情や日々の行動から思いを汲み取り、把握されている。難聴の人には、耳元で大きな声で言ったり、筆談をしながら、曖昧な伝わり方にならない様に注意されている。 | |

| | | | | |
|----|---|---|--|--|
| 24 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族等にこれまでの生活歴やライフスタイルをどのようなサービスを受けられて来たか等を聞き把握している。また、利用後も過去の情報を聞いたりし本人の把握に努めている。 | | |
| 25 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 利用者一人ひとりの生活リズムを把握しできる事を発揮できるように支援している。 | | |
| 26 | 10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々の関わりの中で職員同士、入居者に対して気づいたことなど職員会議の中で意見を出し合いその人らしく生活が継続出来るように介護計画を作成しています。 | 本人の視点に立って、全職員で気付きや意見を出し合い、利用者主体の暮らしを反映した介護計画を作成されている。個別記録は、プランに沿って詳細に記録されており、プランの見直しに活かされている。また、アセスメントを含め全職員で意見交換しながら、モニタリング、カンファレンスも行われている。 | |
| 27 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の記録は利用者の暮らしや様子や本人のその時の表情や言葉、エピソードなどを記録し、またケアの気づきなども具体的に介護計画実施記録へ記載し職員間の情報の共有を行っている。 | | |
| 28 | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない柔軟な支援 | 本人や家族の状況に応じて通院介助や送迎等必要な支援は対応している。 | | |
| 29 | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 運営推進会議に島原広域圏市町村組合介護保険課職員やボランティアの参加があり、周辺情報や情報交換などの協力関係が築けている。 | | |
| 30 | 11 ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 事業所の協力医院や利用前からのかかりつけ医での医療が受けられるよう通院介助を行っている。また、必要に応じて訪問診療に来て頂いたり複数数の医療機関と連携を図っている。 | 利用者のほとんどのかかりつけ医がホームの協力医である。毎月往診があり、必要時には心電図や簡易レントゲンを持ち込み診察される事もある。大変協力的で、大きな安心へと繋がっている。 | |

| | | | | |
|----|---|---|--|--|
| 31 | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>看護職員を配置しており、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。また、看護職員が居ない時間はケアや引継ぎなどで確実な連携を行っている。</p> | | |
| 32 | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>利用者の方が入院が必要になった場合には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、また入院中の状況などを家族とも情報交換しながら職員も見舞うようにしている。回復状況により医師や家族との連携を図りながら速やかな退院支援が出来るよう努めている。</p> | | |
| 33 | <p>12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化や終末期に対する支援は家族の意向を聞きホームが対応できるケアについて家族や主治医と状態に変化があるごとに繰り返し話し合い家族や本人の希望や思いを配慮しながら方針の統一が出来るように支援している。</p> | <p>医師の大きな支援の下、本人・家族の意向に沿って、安心して終末期を迎える事が出来る様に、家族の意向を確認しながら取り組まれている。一方で、居室に移乗用のリフトを設置し、腰痛の家族の介護の負担軽減を図る等、家族への配慮もされている。終末期に向けた家族の宿泊も可能である。</p> | |
| 34 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>毎年消防署が主催する救命講習会に参加し普通救命講習Ⅰを終了し救急手当や蘇生術の実技講習を受けている。講習で知り得た知識や技術は他の職員にも伝達・指導し共有出来るように努めています。</p> | | |
| 35 | <p>13 ○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年に1回消防署の立会いのもと避難訓練を行い避難経路や通報の仕方などの訓練を行っています。また、事業所では地域住民の方に参加してもらい利用者と一緒に避難訓練や誘導方法などの訓練を行い設備点検も定期的に行っています。</p> | <p>消防署指導の下、昼間火災想定避難訓練を利用者と共に実施された。夜間想定訓練も実施予定である。利用者の個々の状態を踏まえ、避難誘導策を全職員で検討し、食料品や個人情報ファイルも整備されている。移転されて間もないこともあり、地域住民の訓練への参加はなく、課題として、今後働きかけをしていく方針である。また、自然災害を想定した避難訓練の実施はない。</p> | <p>全職員有事の際は、適切かつ迅速に対応できるように、地震等の自然災害の定期的な訓練とその対応と共に、職員だけの誘導の限界を踏まえ、地域住民の協力体制の確立に期待したい。</p> |

| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
|--------------------------|----|--|---|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ひとつのケアに対しプライバシーの保護が出来るように気十分に気を配り、さりげなく声かけをしたりまた自尊心を気づけないように支援している。 | 職員の気になる言葉かけや態度については、すぐに注意し、利用者の人格を尊重した対応をされている。同じ話を繰り返しされても最後まで聞いたり、トイレに再々行かれる人には声かけをしながら見守っておられ、人格を守りながら、その人らしく、楽しく暮らせる様に支援されている。 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日々の関わりの中で利用者の希望、関心、表情の変化を見極め利用者に合わせた声かけを行い複数の選択肢を提案し利用者が自分で決める場面作りを心がけています。 | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの生活リズムを大切にその人らしい生活が送れるように出来るだけ個別性のある支援を行っています。 | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 本人主体で身だしなみを整えられるように見守りを行い不十分なところや乱れはさりげなく支援している。自己決定しにくい利用者には職員と一緒に考えて本人の気持ちに沿った支援に努めている。 | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 季節に応じて旬の野菜など自家栽培している農作物と一緒に採って来て調理を行い楽しく食事が出来るように場を和ませたりさりげなく利用者を見守りながら職員と同じテーブルで食事をしている。 | 食事に力を入れているホームで、施設長手作りの落花生や野菜等、旬の食材使用により季節を感じながら安心して食されている。また、誕生会は刺身・あんパン・コーラ等利用者の希望を聞きながら、バイキングにされており、楽しみの一つになっている。利用者の希望が献立に反映されており、一緒に買い物に行くこともある。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者一人ひとりの嗜好や栄養面を考え体調と1日の摂取量を把握している。水分量もおおよその摂取量が把握できるように職員が意識しながら支援しています。 | |

| | | | | |
|----|---|--|---|--|
| 42 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 利用者の状態に応じて毎食後の口腔ケアを見守りや介助を行い支援している。 | | |
| 43 | 16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 自尊心に配慮し紙パンツ・パット類も本人に合わせて検討しトイレで排泄が出来るように排泄チェック表を使用し尿意のない利用者等についても時間を見計らって誘導しトイレで排泄できるように支援している。 | 介護度の高い人も多い中、昼間は可能な限りトイレで排泄できる様に支援されている。利用者1人ひとりのプライバシーに配慮をしながら、気持ちよく生活できる様に支援されている。 | |
| 44 | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 繊維質の多い食材や乳製品を取り入れ、散歩や適度な運動が出来るよう日々の活動の中で体を動かす機会を作り自然な排便が出来るように取り組んでいる。 | | |
| 45 | 17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている | 利用者のその日の体調などを確認しスムーズで安全な入浴が出来るように個別にあった支援を行っている。また、入浴を拒否される方に対しては声かけの工夫や職員のチームプレイ等によって一人一人に合った入浴を支援している。 | 個浴の外に、ストレッチャー式と車椅子式の特設浴槽があり、個々の状態に合わせて入浴出来る様になっており、利用者はゆっくり、寛いだ気分で入浴を楽しまれている。現在、1日おきの入浴となっているが、希望があれば毎日でも可能である。 | |
| 46 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中の個別の疲れ具合に応じて個別に休息できるように支援している。また、生活リズムを整えるため、日中の活動を促し安眠できるように支援している。 | | |
| 47 | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 利用者一人ひとりの服薬ファイルを作成し職員が内容を把握できるように支援している。服薬時には、本人に手渡し、確実に服薬できるように支援している。 | | |

| | | | | | |
|----|--|---|---|--|--|
| 48 | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>日々の暮らしの中で一人ひとりにあった楽しみや役割を見つけその力を発揮してもらえるように出来ることは依頼し、感謝の気持ちを伝えながら出来る範囲の拡大を図り活力を引き出せるに支援している。</p> | | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>天気や本人の体調や希望に応じて、散歩や買い物、季節を肌で感じてもらう為にドライブ等に出かけ気分転換やストレス発散が出来るように支援している。車いすを利用されている方に対して同じように外出できるように配慮している。</p> | <p>季節ごとの花見や紅葉見物の外、日常的にホームの周りを車椅子で散歩したり外気浴を楽しまれている。家に1泊で帰る人もあり、職員は家族に介護のアドバイスをしながら、温かく見守っている。また、毎週パンの移動販売車が来るのを楽しみにされている利用者もおられ、それぞれ本人の思いに添った支援が行われている。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>家族より少額のお金を預かり、事務所にて管理し買い物などの際に自分で払っていただけるようにお金を渡したりしている。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>利用者の希望に応じて、日常的にいつでも電話がかけられるように支援している。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者が過ごす共有空間が安らぎ居心地の良い場所になるように食材を刻む音や茶碗を洗う音など生活感を大切にし季節感を取り入れながら家庭的な雰囲気作りを心がけ居心地の良い場を整えていくように努めている。</p> | <p>今年の3月新築のホームに移転された。廊下、食堂、居室等全てが明るく広々としており、気持ちの良いホームである。利用者の寛げる場所が確保されており、話し声や笑い声が聞こえ、利用者にとって、居心地の良い場となっている。また、玄関には季節感のある物を置き、暮らしの場を整えている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>食堂で他者や職員と過ごしたり、気の合う利用者同士でくつろげるスペースを作っている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----|---|--|---|--|
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の好みなどに合わせて使い慣れた目覚まし時計や馴染みの物を持って来てもらい安心して過ごせるように配慮している。 | 入居前から慣れ親しんだ新聞を引き続きとっておられたり、位牌を持って入居された方は、ご飯を毎朝お供えしお参りされている。落ち着いた様子で、自分らしく過ごされている様子が窺える。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者の身体機能を考慮し家具の配置や活動性を維持するために車椅子などを取り入れ利用者の状態に応じ自立した生活が送れるように支援している。 | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|----------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまに |
| | | | 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている |
| | | | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3, あまり増えていない |
| | | | 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3, 職員の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3, 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |